



2023.2.1

エコテックス® (OEKO-TEX®) 2023 年の新規制・新規取組を発表

繊維・皮革産業と消費者とのさらなる信頼関係構築に向けて

繊維・皮革産業とその顧客=消費者との信頼関係を構築することがエコテックス®共同体の使命です。信頼は一貫して高い品質に基づいて築かれるとの考えから、エコテックス®国際共同体では今回も、認証に適用する試験基準、規制値、ガイドラインの更新を行いました。この新規定は移行期間を経て、2023 年第 1 四半期に発効します。

このほか、主な取り組みのポイントをご紹介します。①GoBlu 社の BHive®アプリをエコテックス®ステップに統合することで、認証済みの生産企業はグローバルなサプライチェーンにおける持続可能性の要件と化学物質管理のチェックが可能になります。②2023 年 4 月に新たに創設するエコテックス®オーガニックコットン (OEKO-TEX® ORGANIC COTTON) 認証では、オーガニックコットン製の繊維製品について、信頼性の高いラベル表示が可能になります。③スタンダード 100、レザースタンダード、エコパスポートの各認証において、パーフルオロアルキル/ポリフルオロアルキル化合物 (PFAS/PFC) の繊維、皮革、フットウェアへの使用全般が禁止になります。④エコパスポート認証ではこれまで任意であったセルフアセスメントを、2023 年 4 月からすべての認証で義務化する予定です。

それでは、具体的な変更点等を以下に詳しくお知らせします。

エコテックス®ステップが BHive®に対応

エコテックス®国際共同体にとって、繊維・皮革産業の専門家との協力や交流は非常に重要なことです。

サステナビリティを推進する GoBlu International Ltd.社とは、重要なパートナーシップを構築しています。同社が開発した、グローバルサプライチェーンにおける化学物質管理を行う【BHive®アプリ】により、認証企業は現場で使用するすべての化学製品の情報をスマートフォンで収集し、当該製品が各ブランド・小売業者等が設定するサステナビリティ要件を満たしているか否かを判断することができます。すべての情報は自動的に化学物質リストに記録されるため、ブランド各社は透明性の高い正確なデータに直接アクセスできます。導入は 2023 年 4 月となり、エコテックス®ステップの認証取得企業は、この総合的な化学物質データベースを活用することにより、労力、時間、コストを削減することができます。また、このインテリジェントなシステムにより、ステップや ZDHC MRS� など、認知度の高い業界基準に準拠したコンプライアンスが実現します。



新たな認証制度を開始：エコテックス®オーガニックコットン (OEKO-TEX® ORGANIC COTTON)

2023年4月から、新たに【エコテックス®オーガニックコットン】認証を開始します。

オーガニックコットンを使用した繊維製品について、より信頼性の高いラベル表示が実施されることとなります。「サステナブルな繊維製品を好む消費者はますます増えており、オーガニックコットンに対する需要も急速に拡大している。しかし、その信頼性は十分なものだろうか？」とエコテックス®国際共同体事務局長のゲオルク・ディナーは指摘しています。

エコテックス®ではサンプル原料における DNA 定性分析（製品に遺伝子組み換えコットンが含まれているか否かの確認）に加え、第二段階として含有量を算出します。その目的は、生産状況をチェックするだけでなく、サプライチェーンを通じて原料を追跡できるようにすることです。

「エコテックス®の今回の取組みが斬新なのは、サプライチェーンの最初の段階、つまり綿の繊維と種を分離させる“綿繰り”の工程で、遺伝子組み換え綿の検査を開始することである。これにより、すべての生産段階において、商品の流れを追うことが可能となる」と、ゲオルク・ディナーは説明しています。

エコテックス®エコパスポート：セルフアセスメントを将来的に義務化/ZDHCの更新に対応

エコパスポートの認証は、CAS 番号のスクリーニングとニッセンケン等のエコテックス®認証試験機関での分析が義務化されており、これによって制度が成り立っています。セルフアセスメントと認証取得企業の訪問監査は任意でした。訪問監査については当面の間任意実施を継続としますが、セルフアセスメントについては、2023年4月以降すべての認証取得企業の生産拠点で義務化されることとなります。

2023年4月以降に発行されるすべての認証は、有効なセルフアセスメントを提出する必要があります。なお、すでに認証を取得している企業については、移行期間が設けられる予定です。

また、スタンダード 100、レザースタンダード、エコパスポートの各認証を対象に、繊維製品、皮革製品、フットウェアにおけるパーフルオロアルキル化合物 (PFAS/PFC) の使用を全面的に禁止することを決定しました。これは、ZDHC 製造制限物質リスト (ZDHC MRSL) バージョン 3.0 およびその新しい適合性ガイダンス 2.0 と連携するものです。エコパスポートは、すべての認証取得企業がスムーズに移行できるよう、2023年2月に移行します。



2023.2.1

スタンダード 100、レザースタンダード、エコパスポートの規制値を更新しました

スタンダード 100、レザースタンダード、エコパスポートの認証において、これまで要監視物質であった「Annex 4」と「6」に記載されているクロロタロニルなどの農薬が追加されました。また、3つの物質(Tris(2-methoxyethoxy)vinylsilane, 6,6'-di-tert-butyl-2,2'-methylene-di-p-cresol, N-(hydroxymethyl)acrylamide)が人の健康や環境に深刻な影響を与える可能性のある高懸念物質 (SVHC) に再分類されました。一般的に、特定の物質に対して厳しい規制を設けることで、環境、労働者、消費者への影響を低減できます。

要監視物質の新着情報

エコテックス®は 2023 年も最新の科学的知見による適合性に基づいて、各種物質の監視を継続します。主な対象は、酸化防止剤の「ドロメトリゾール」と化合物の「N-エチル-2-ピロリドン」です。

エコテックス®について

エコテックス®は 30 年にわたり、繊維・皮革産業が透明性が高く、持続可能な方法で製造工程を最適化するために活用できる標準化されたソリューションを提供してきました。ベースとなるのはエコテックス®の科学的原則に基づく思想であり、高品質で安全かつ持続可能な製品を市場に送り出すことに貢献してきました。現在、100 を超える国々のメーカー、ブランド、商社など 21,000 社がエコテックス®規格を利用しています。同時に、世界中の何百万人もの消費者がエコテックス®ラベルが付与された商品を購入するなど、人々の責任ある購買の意思決定を行う際の指針となっています。

エコテックス®の認証を受けた商品及びその企業は、オンラインのエコテックス®バイイングガイド【www.oeko-tex.com/buying-guide】で確認することができます。

<お問合せ先>

エコテックス® 認証について

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター
ライフ アンド ヘルス事業本部 エコテックス®事業所
E-mail : oekeo-tex@nissenken.or.jp

エコテックス® PR について

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター
事業推進室マーケティンググループ
E-mail : pr-contact@nissenken.or.jp